

# 釧路市情報系仮想基盤の賃貸借 仕様書

釧路市総務部情報システム課

## 1. 概要

釧路市では、2015年度に情報系仮想基盤を構築している。本仕様書は、そのうち2016年度（平成28年度）に導入した、情報系システムを収容する仮想基盤を更改し、現行仮想サーバー等に移行して再構築を行い、それを賃貸借するためのものである。

更改にあたり、既存の仮想基盤で導入済の機器と連携することが必須条件であるため、それらの設定及び調整も同時に行うこと。

## 2. 賃貸借期間

2023(令和5)年3月1日から2028(令和10)年2月29日まで

## 3. 設置場所

釧路市総務部情報システム課サーバー室内  
当市が指定するラック内に搭載すること。

## 4. 必要とするハードウェア機能

### (1) 仮想ホスト

台数	1台
形状	ラックマウント1U FUJITSU PRIMERGY RX2530 M6 相当
CPU	Xeon Gold 6326 プロセッサ (2.90GHz、16コア、24MB) 相当 ×2個
メモリ	計256GB以上
ドライブ	内蔵DVD-ROMユニット(Ultra Slim)
ディスク	フラッシュモジュール VMware vSphere Hypervisor用M.2 Flash モジュール(240GB)
FCインターフェイス	16Gbps FC HBA ボード ×2個 冗長構成とする。 FC(SAN)スイッチに接続すること。 既存FC(SAN)ケーブルを使用すること。 既存の情報系ストレージと業務系ストレージに接続し、既存データストアを利用できること。
LANインターフェイス	Quad port LANカード(1000BASE-T) 電源ケーブル(AC100V対応/3m) (NEMA 5-15P 準拠) 別途システム監視用ポートを備えること。
電源	電源900W(80PLUS Platinum 認証) ×2個 冗長構成とする。
電源ケーブル	AC100V対応/3m・NEMA5-15P 準拠×2本
ラックレールキット	当市のサーバラックに設置するためのラックレールキットを用意する

	こと。
OS	既存 vSphere Standard
保証	5 年間の 24 時間 365 日オンサイト保証
その他	既存 VMware vCenter サーバーから本仮想ホストを認識すること。
バックアップ	既存仮想コスト同様にネットワークインターフェイスに各ネットワークを割り当てる。 当市が用意する既存のバックアップサーバーに導入し、ネットワーク経由でバックアップを取得する設定を行う。

(2) FC (SAN) スイッチ機能仕様

台数	2 台
形状	ラックマウント 1U
転送能力	32Gbit/s, 16Gbit/s, 8Gbit/s, 4Gbit/s (全二重)
総スループット	最大 768 Gbit/s
最大ポート数	FC : 24
保証	5 年間の 24 時間 365 日オンサイト保証 現行環境との接続性、安定性を保証すること。

(3) ソフトウェア仕様

サーバーOS	Windows Server 2022 Edition Datacenter Japanese 2Lic Core License ×16
CAL (クライアントアクセスライセンス)	Windows Server 2022 CAL Japanese Device CAL ×2,000

(4) 完成図書仕様

図面、設計書、システム管理マニュアル	一式 (データおよび紙媒体各 1 部)
工程写真、材料写真	一式 (データおよび紙媒体各 1 部。特に、材料がもれなく納品されたことが確認できるよう全て撮影すること)

5. 仮想基盤機能要件

現在の仮想基盤は以下のとおりである。

- (1) 既存仮想基盤に仮想ホストを追加し、仮想サーバーを構築可能にする。
- (2) 既存仮想基盤は既存の 10 台の仮想ホストについてもマイグレーションする。

6. 現行の仮想環境について

現在の仮想基盤は以下のとおりである。

- (1) 仮想化ソフトウェア : VMware vSphere Standard 7.0
- (2) 仮想化管理ソフトウェア : vCenter Server Standard 7.0
- (3) 仮想ホスト : FUJITSU PRIMERGY RX2530 M2 3 台  
FUJITSU PRIMERGY RX2530 M4 4 台  
FUJITSU PRIMERGY RX2530 M5 4 台
- (4) FC (SAN) スイッチ : Brocade 6505 FC スイッチ 2 台
- (5) ストレージ : FUJITSU ETERNUS DX100 S3 2 台

7. セットアップ要件

- (1) 仮想ホストは既存仮想基盤に接続すること。(既存 FC (SAN) スイッチに接続し、適切なゾーニングを行うこと。)
- (2) 既存の VMware vCenter 上に仮想ホストを認識させ、管理できるようにすること。
- (3) 本調達分の仮想ホスト、既存ストレージでクラスターグループを構成する。
- (4) VMware vMotion 及びストレージ VMware vMotion を利用して既存仮想基盤の仮想マシンを移動できること。
- (5) 当市との協議の上、必要なネットワークを各ネットワークインターフェイスに割当てること。

8. 契約形態

- (1) 5年60回払いの賃貸借（リース）契約とする。
- (2) 入札時に指名する業者は構築ベンダーまたは指定するリース業者とする。
- (3) リース期間満了後は、物件を当市へ無償譲渡することから、物件にかかる固定資産税は積算から除外可能とする。

9. システム保守・サポート体制

導入年度内については、SE サポートを行い、設定内容についての問合せ対応、不具合時の調査支援を行うこと。また、重大な障害等で仮想基盤の再構築が必要と判断した場合にはオンサイトによる再構築を行うこと。

10. その他

- (1) ハードウェア保証は釧路市内にサービス拠点を持つこと。
- (2) 構築後、不要となる機器および配線の撤去を実施すること。
- (3) 調達物品に対する初年度の保守料については、発生しないものとする。
- (4) 納品時に使用される包装等については受注者が回収し適切に処理すること。
- (5) 仕様書の解釈に当市と受託者の間に相違がある場合、当市の解釈を優先する。